

本部と平尾分団が連携した訓練

災害を想定し避難勧告発令

陸上自衛隊も派遣され長島町防災訓練実施



災害対策本部会議



現場指揮本部会議



火災を想定した放水訓練



被災者の救護



参加者にカレーが配布



炊飯支援訓練



車両と装備品の展示



倒壊家屋から救出

11月21日、平成22年度長島町防災訓練が、関係者約400人が参加して旧長島高校跡地で実施されました。

この訓練は、大規模災害の発生に対し、長島町地域防災計画を基にした行政機関と、災害出動機関、自主防災組織を中心とした、住民の避難体制と避難訓練を実施することで、災害時の避難支援体制の確立を図ることを目的としています。

この日は、長島町で震度5弱の地震が発生し、各地で道路の寸断や、平尾地区の家屋の倒壊と住宅密集地で火災が発生するなど、甚大な被害があり、長島町災害対策本部では、被害の状況や気象庁の情

報から、今後震度4以上の余震が継続的に発生する恐れがあるため、陸上自衛隊第12普通科連隊の災害派遣を要請したことを想定としました。

午前8時30分に避難訓練が開かれ、旧長島高校跡地のグラウンドに住民たちは次々と避難しました。

その後、要請を受けた自衛隊による被害状況偵察があり、倒壊した建物から陸上自衛隊の救出訓練と、消防分遣所と平尾分団が連携した放水訓練がありました。参加した住民たちは、本番さながらの訓練に、くぎ付けとなっていました。

最後には、炊飯支援訓練として作られたカレーライスが全員に支給されました。